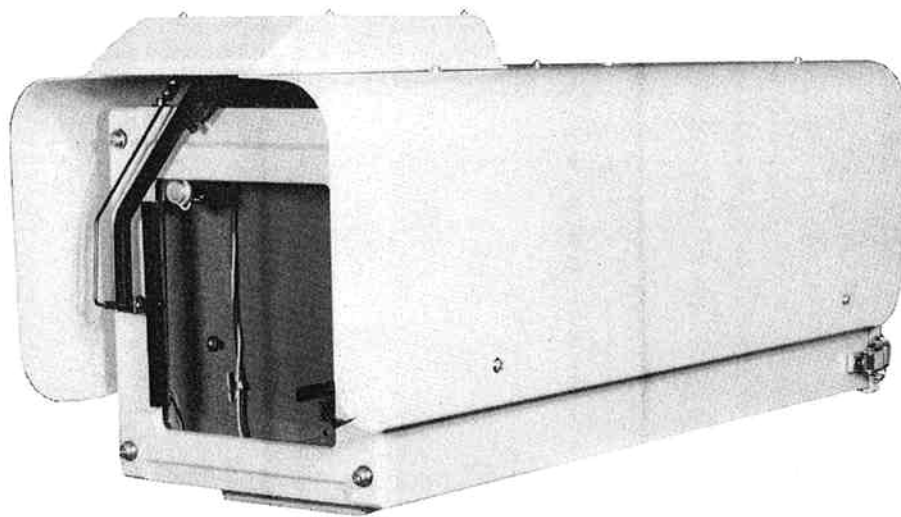


テレビカメラ用全天候型ハウジング CH-3500-2C型 取扱説明書



このたびはカメラハウジング CH-3500-2C型をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。お求めのカメラハウジングを正しく使っていただくために取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは必ず保存してください。

目次

仕様	3
本体回路図	5
特長	6
特にご注意を	6
本体外形寸法図	7
内部詳細寸法図	7
設置のしかた	8
接続のしかた	9
使いかた	9
修理サービス	10
システム接続図	11

CH-3500-2C 型は、ワイパー・導電ガラス・サンルーフおよびサーモスタット制御によるヒーター・ファンを装備した全天候型カメラハウジングです。あらゆる厳しい気象条件下でご使用いただけるように、また取付け場所の美観によくマッチするように、材質・仕上塗装・デザインを研究のうえ完成した製品です。

施回台 PTH-5-10 型と組合せてテレビシステムの高度化・合理化にご採用下さい。

仕様

●設置条件

使用場所：屋外一般、本体は密閉構造になっており、急傾斜状態での使用でも雨水が侵入する恐れがありません。（特注で通気構造のものもお受け出来ます。）

周囲温度：-15°C～+45°C（但し、ワイパーは-5°C～+45°C）

周囲湿度：98%以下（相対湿度）

●構造仕様

外形寸法：260（幅）×315（高）×755（奥行）mm

内部容量：156（幅）×168～200（高）×543（奥行）mm

重量：約13.5kg

筐体材質：耐蝕アルミ合金、アルミ鋳物およびステンレス鋼

外観処理：ポリウレタン樹脂塗装、マンセル N7 レザートーン仕上

●電気仕様

使用電源：AC100V±10%、50/60Hz、94VA

使用電力および制御：

ヒーター：約74W、約5°C以下ON（サーモスイッチによる）

ファン：約10VA、約25°C以上ON（サーモスイッチによる）

ワイパー：約10VA、リモートコントロールによるON/OFF

デフロストガラス：約10W※、リモートコントロールによるON/OFF、
または常時スイッチONによる自動制御（ガラス温度：約30°C以下ON、約50°C以上OFF）

※デフロストガラスは耐寒・耐雪の寒冷地用仕様の
場合、オプション部品を使用し電力が20Wとなります。

取締規則：国内電気用品取締規格による

●標準商品構成

ハウジング本体：		1台	
付 属 品：	プラグ 電源・制御用	NJW-2816-PF14	1コ
		（適合ケーブル外径φ13～φ14.5）	
	プラグ 同軸用	N-P-5（5C-2V用）	1コ
	本体 取付 ボルト	M6×20 六角ボルト、座金	4組
	カメラ 取付 ボルト	W1/4×12 六角ボルト、座金、インシュレータ	2組
	取 扱 説 明 書		1部

●関連システム器材（別売）

電動旋回台：PTH-5-10型
 ウォールブラケット：WB-5BN型
 取付台：WB-15A型
 制御器：CB-75LB型
 ケーブルセット：CH-3500-2C～PTH-5-10間用(CU-H3)
 リレーボックス

●ケーブルの太さと制御距離の関係

- 制御器 CB-75LB～電動旋回台 PTH-5-10・
カメラハウジング CH-3500-2C 間制御距離

公称断面積 (mm ²)	0.75	1.25	2.0	3.5
単芯線 (mm)	1.0	1.2	1.6	2.1
距離 (m)	50	85	140	230

図1

注1 ケーブル径が大きくなりますと付属のコネクターに適合しなくなる場合があります。
この場合には端子箱等で変換接続してください。

注2 上表は搭載物（カメラハウジング、TVカメラ、ズームレンズ）の総重量が25kg以下、電源電圧AC100V、
常温時の場合の参考値です。

尚、断面積、線径が規格外の場合は、規格内の太いほうを選んでください。但し PAN/TILT 同時制御の
時ライン電圧降下を4V以下に制限した値で、尚 PAN/TILT のモータの電圧に対する電流の位相を同一
とした場合。

●レンズのケーブルの太さと制御距離の関係

必要距離	断面積
約 300mまで	0.5mm ²
約 500mまで	0.75mm ²
約 1000mまで	1.25mm ²
約 2000mまで	2.5mm ²

図2

*ケーブルの外径は、最大6mmまでしかコネクターに入りませんので、ご注意ください。

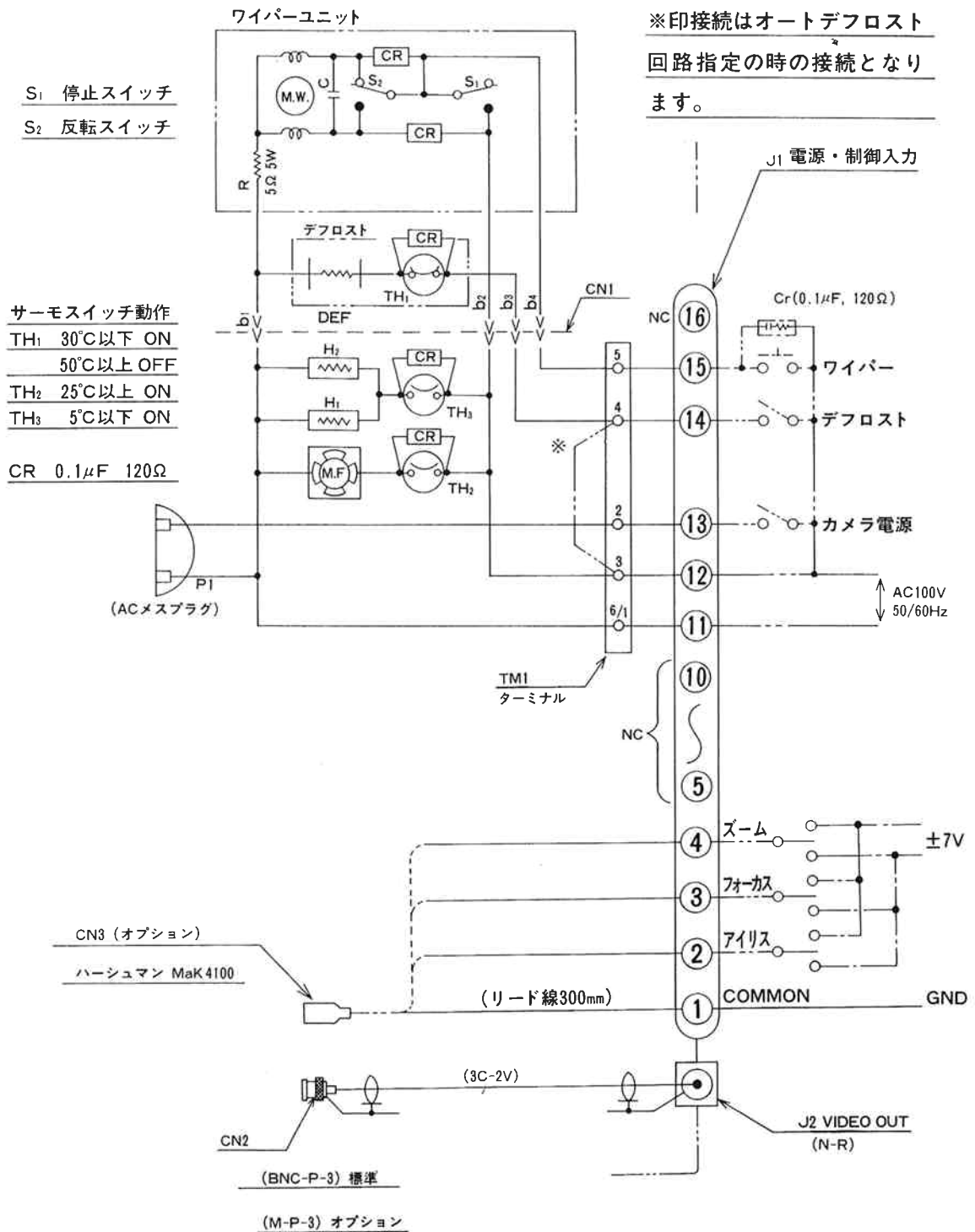
●同軸ケーブルの伝送距離（ケーブル補償器を使用しますと伝送距離はのびます。）

同軸ケーブル	伝送距離(m)
5C-2V	200
7C-2V	300
5C-4E	400
7C-4E	500
10C-4E	600

図3

本体回路図

単位：mm



記号	名称	個数
DEF	導電ガラス	1
H1・H2	ヒーター	2
M・W	ワイパー用モーター	1
M・F	ファン用モーター	1
C	モーター進相用コンデンサ	1
CR _{1~5}	ノイズキラー0.1μF 120Ω	5
TH1	導電ガラス用サーモスイッチ	1

記号	名称	個数
TH2	ファン用サーモスイッチ	1
TH3	ヒーター用サーモスイッチ	1
CN1(b _{1~4})	マルチコネクタ	1
S ₁	停止スイッチ	1
S ₂	反転スイッチ	1
R	抵抗5Ω 5W	1
P1	ACメスプラグ	1
TM1	ターミナル	1

図4

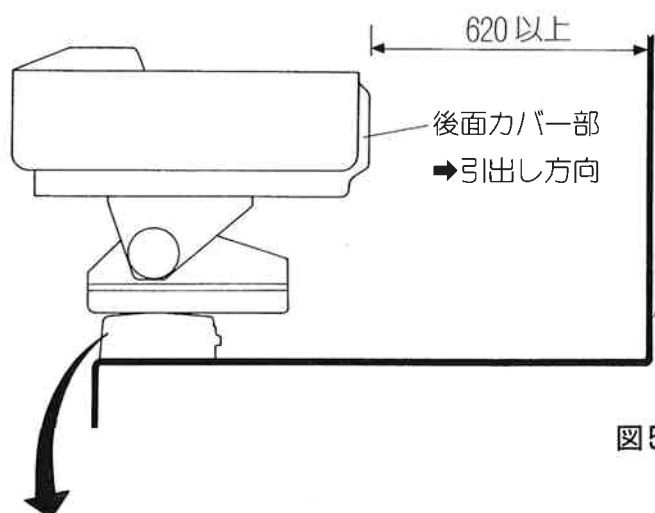
特長

- ファン、ヒータ、ワイパー、デフロストガラスを装備していますので、全天候型カメラハウジングとして威力を発揮します。
- ファン、ヒータ、デフロストガラスは各設定温度になりますと自動的に働きますので、常に最適の状態でご使用になれます。
- テレビカメラ、レンズを最適位置にセットできるようにカメラ取付板、ヒータは位置を移動できます。
- 電動旋回装置 PTH-5-10 と組み合わせてご使用になれば、屋外のきびしい環境下での TV システムとして威力を発揮します。

特にご注意を

本カメラハウジングは旋回装置（PTH-5-10）や半固定雲台に搭載して使用しますが特に下記の点にご注意ください。

- 本カメラハウジングの重量は約13.5kg（テレビカメラ、レンズを収納しますと最大約17kg）あります。旋回装置や半固定雲台には付属のボルトを使用し、しっかりと固定してください。
- 本カメラハウジングを旋回装置に取り付けてご使用される場合は、旋回中カメラハウジングが周囲の壁や天井等にぶつからないように、設置してください。
- テレビカメラの出し入れは後面カバー部を後方に引き出します。



(注)カメラを出し入れするとき、後面カバー部が後方に引き出されますから、後方に約620mmの空間が必要です。
後方に壁面等の障害物があるときはハウジングの方向を回転出来る取付台を使用すると便利です。

図5

取付台・旋回台

- | | |
|--|---|
| (1) 電動旋回台 PTH-5-10型 | (3) ハウジング取付台 WB-15A型 |
| (2) ウォールブラケット WB-10型
(PTH-5-10と組合せ使用) | (4) ウォールブラケット WB-5BN型
(WB-15Aと組合せ使用) |

本体外形寸法図

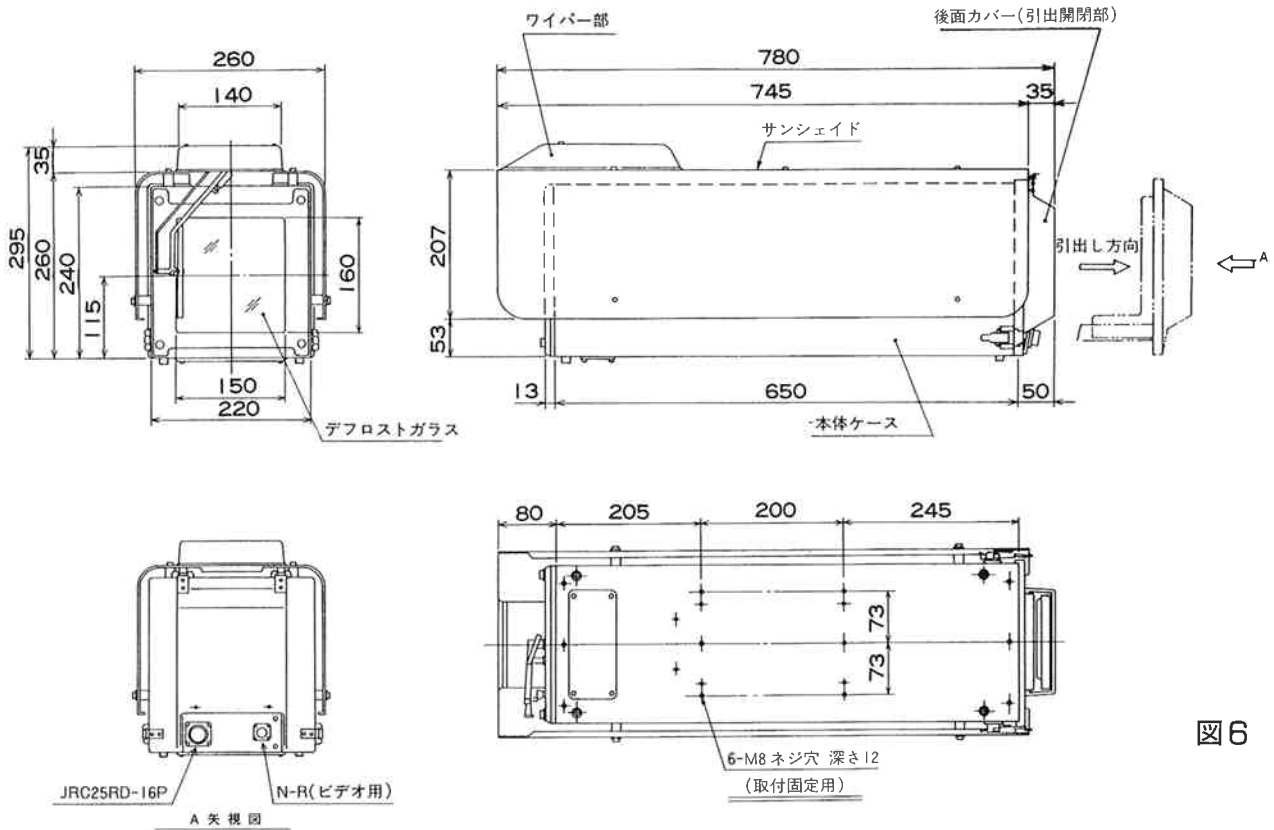
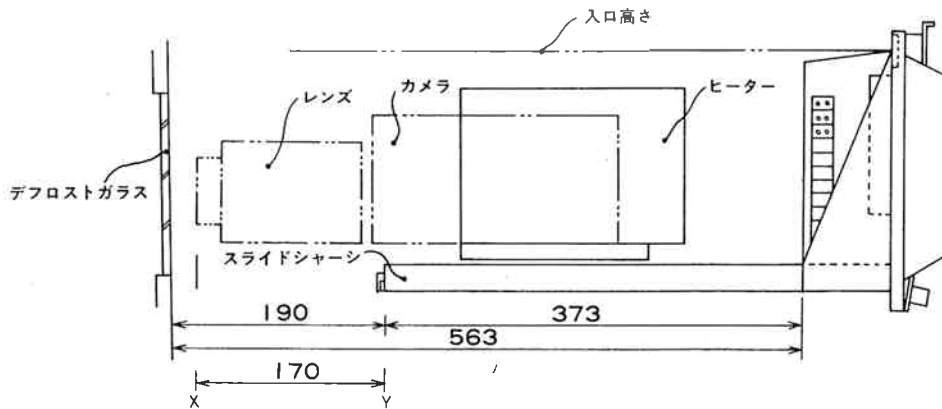


図6

内部詳細寸法図



レンズの先端Xとスライドシャシーの先端Yとの間隔は170mmに保つこと。

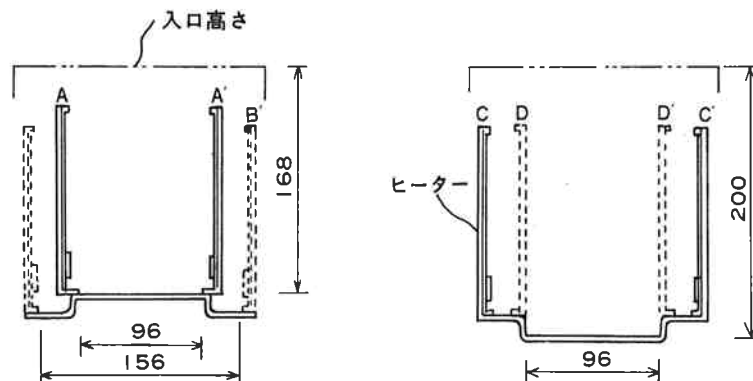


図7

カメラの幅、レンズの光軸の高さに応じて、カメラ取付板およびヒーターの向きや位置を適当に変更する。

設置のしかた

■ テレビカメラの取り付けかた

- 本体後面カバー部のキャッチクリップ（4カ所）をはずし後面カバー部を後方に引き出してください。

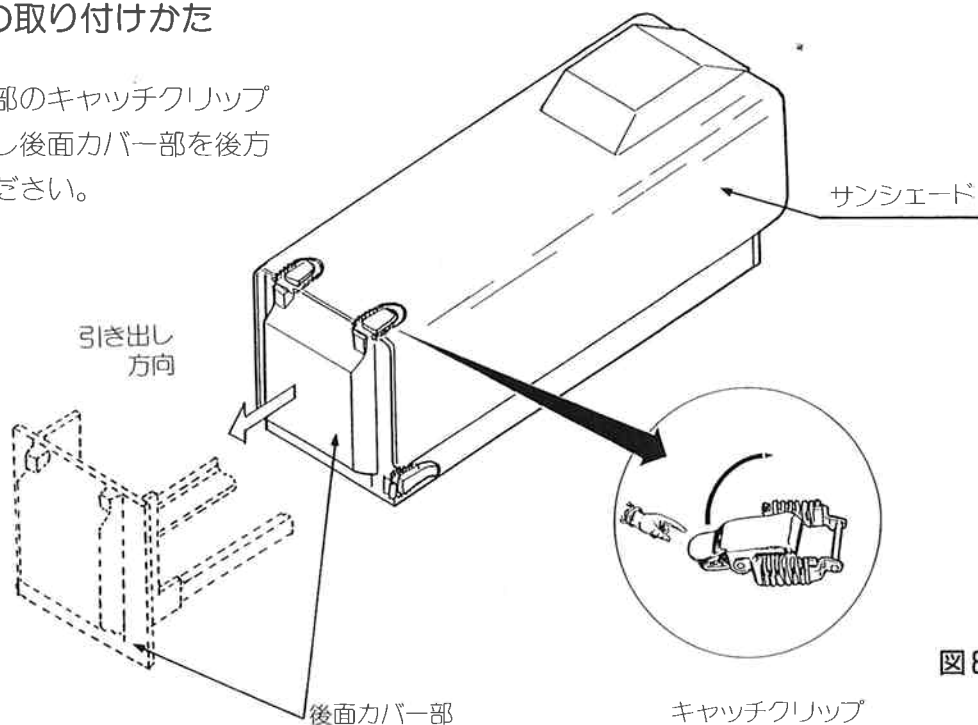


図8

- テレビカメラをカメラ取付板にカメラ取付ボルト1本で固定してください。

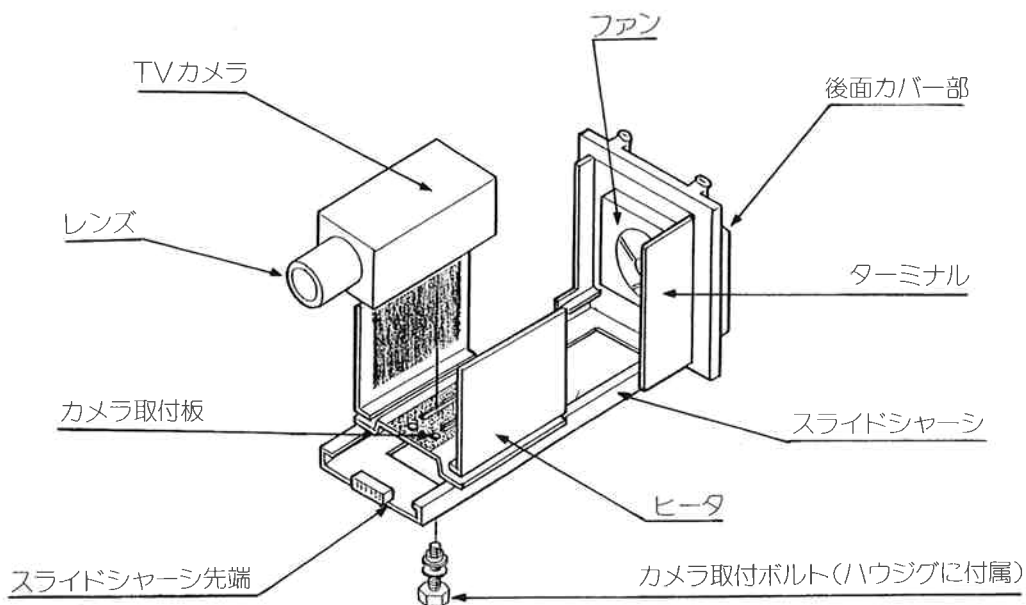


図9

この時レンズの先端が前面デフロストガラスにあたらないように、あらかじめカメラ取付板の位置を調節しておいてください。

カメラ取付板の位置は図7のようにスライドシャーシ先端とレンズの先端の間隔が

※ 170mm になる位置が最適です。

接続のしかた

- 添付のシステム接続図（図11）に従い接続してください。なお接続には付属のコネクタを使用し、防水効果を保つために指定の径の多芯ケーブルをご使用ください。
- 本機と旋回装置（PTH-5-10）間の接続には別売のCH-3500-2C～PTH-5-10間ケーブルセット（型名CU-H3）をご使用になりますと簡単に、そして確実に接続することができますので、ご利用ください。
- 制御器 CB-75LB～旋回装置 PTH-5-10・カメラハウジング CH-3500-2C 間の接続は、システム接続図（図11）をご参照ください。

ご注意

- カメラの電源表示灯がカメラの前面にある場合、カメラの取り付け位置によってカメラの電源表示灯の光がデフロストガラスに反射してレンズに入射し非常にみにくい場合があります。このような時にはカメラの電源表示灯の上に厚手のテープ等を貼ってご使用ください。

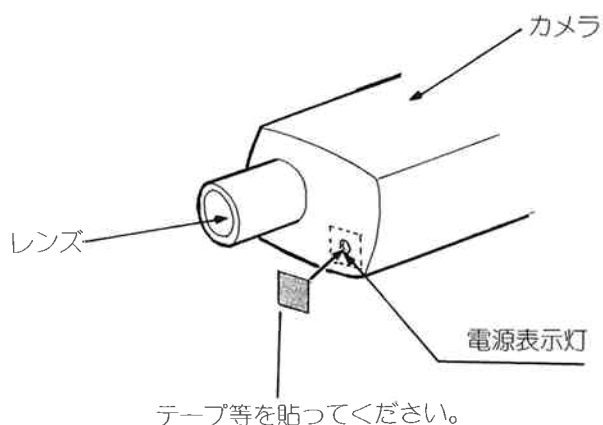


図10

使いかた

準備

- 各機器間の接続に間違いがないかもう一度お確かめください。
- 各機器のすべてのスイッチが「切」の位置になっていることをお確かめください。
- 各機器の電源コードを AC100V コンセントに差し込み各機器の電源スイッチおよび制御器 CB-75LB のカメラ電源スイッチを「入」にしてください。

■ 操作のしかた

- 電源コードを AC100V コンセントに差し込むことによりヒータ、ファン、デフロスト回路に電源が供給され、作動状態になります。
カメラハウジング内の温度がさがると自動的にヒータが動作し、またカメラハウジング内の温度が上昇しますと自動的にファンが働き、カメラ、レンズを最適状態に保ちます。
- 外気の温度がさがり、カメラハウジング内の温度との差が大きくなりますとデフロストガラスが曇ります。デフロストガラスに埋め込まれた熱線が外気の温度により自動的に ON, OFF し、デフロストガラスが曇らないよう最適な状態に保ちます。
(制御器 CB-75LB を使用する場合はカメラハウジング内部の5ピンターミナルの3番と4番を接続しオートデフロストにしてください。)
- 屋外で使用し、デフロストガラスに雨滴がかかった場合は、制御器 CB-75LB の“ワイパー”スイッチを“入”にしてワイパーを動かしてください。
(“入”にしている間ワイパーが働きます。)

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、各機器の電源スイッチを切ってお買いあげの販売店、または当社にご相談ください。

なお、ご相談されるときは型名 (CH-3500-2C) およびお買いあげ時期お忘れなくお知らせください。

株式会社 

特機営業部

〒225-0014 神奈川県横浜市青葉区荏田西1-5-23
TEL. 045 (914) 8222 (代) FAX. 045 (914) 6831

西日本支店

〒531-0072 大阪市北区豊崎2-7-9 豊崎いずみビル
TEL. 06 (6376) 1821 (代) FAX. 06 (6376) 2071